

活動情報

TEL 0930-23-4215 FAX 0930-23-8290

E-mail keichiku-dlc@pref.fukuoka.lg.jp

園芸畜産課 果樹係

No. 3 (令和2年7月7日)

しんでんばる

新田原特産の桃出荷始まる！

～出荷目標数量 25 t へ向けて～

J A福岡京築新田原果樹部会では、令和2年6月22日に「日川白鳳」と今年から初収穫となる「さくひめ」の出荷をスタートさせました。出荷初日は計40ケースの出荷となり、糖度は「日川白鳳」が12～13度、「さくひめ」が17度と高く、優れた品質となっています。果実の大きさは2kg箱で3L(7～8玉)が中心となっており、市況は4Lが1,815円、3Lが1,707円、2Lが1,371円と昨年と比べ高い単価になりました。

今年は新型コロナウイルスの感染防止のため、出荷検査は職員がマスクを着用して、間隔を広く空けて行うことや、例年3月の春期管理、5月の摘果の講習会および6月の日川白鳳出荷査定会は中止となるなど、これまでとは違う対応が求められています。普及センターでは冬季の高温による開花の遅れや初期生育のバラツキが見られたことから、摘果や新梢管理、カメムシの防除等については、より詳細な管理資料を作成し、配布しました。

「日川白鳳」の出荷は7月上旬で終了しますが、その後は「あかつき」(7月上旬～中旬)や「なつおとめ」(7月中旬～下旬)、「川中島白桃」(7月下旬～8月上旬)等、約1か月半にわたりリレー販売が行われます。共販の出荷先は、地元市場、近隣の中津中央青果等の他、J A農産物直売所「京築恵みの郷」となっています。今年の桃の販売は、目標数量25tを計画しています。桃は人気が高く、地元はもとより遠方からの来店客も予想され、出荷目標達成への期待が高まっています。



出荷されたモモの検査の様子



検査台に載せられ検査を待つ桃